

# スクリーニング検査について①

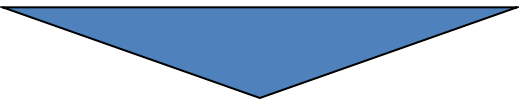
米を含む食品中の放射性セシウムの濃度を正確に知るためには、ゲルマニウム半導体検出器により詳細な検査を行います。この方法では、機器の台数や測定時間の長さから全ての米を検査するのは現実的ではありません。厚生労働省では、「食品中の放射性セシウムスクリーニング法」という食品衛生法に定める基準値100Bq(ベクレル)／kgを確実に下回るものを迅速に判別することができる検査方法を定めています。今回導入されたベルトコンベア式放射性セシウム濃度検査器は、このスクリーニング法に基づき検査を行うために開発された最新の検査機器です。

質問

・「詳細検査」と「スクリーニング検査」は、どう違うのか？

表 測定機器の違い

種類	用途	特徴
ゲルマニウム半導体検出器	詳細検査用	<ul style="list-style-type: none"><li>・放射性物質濃度を<b>正確に測定</b>できる。</li><li>・核種を限定せず利用できる。</li><li>・測定時間が比較的長い。</li></ul>
ベルトコンベア式放射性セシウム濃度検査器	スクリーニング検査用	<ul style="list-style-type: none"><li>・基準値超過の有無を<b>迅速に検査</b>できる。</li><li>・核種は放射性セシウムに限定。</li><li>・測定誤差が比較的大きい。(結果は参考値とする。)</li></ul>



両者は、設計思想や使用目的が全く違う機械です。  
どちらが高性能か、という比較は意味がありません。

# スクリーニング検査について②

## 質問

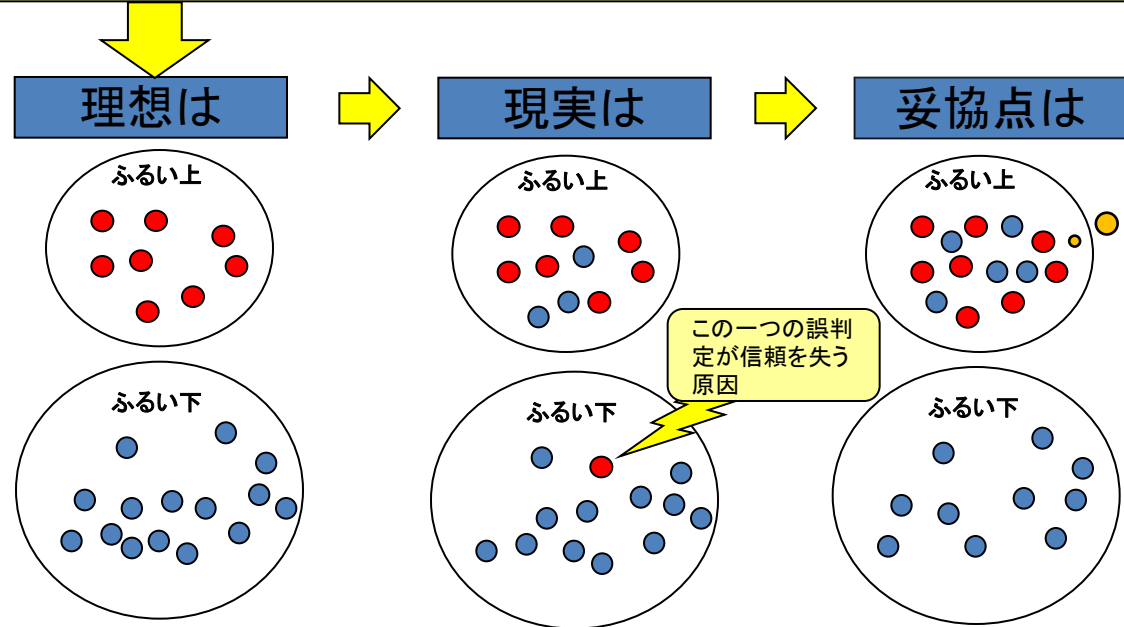
・ベルコトンペア式放射性セシウム濃度検査器による「スクリーニング検査」の仕組みは？

スクリーニング検査を「ふるい」に例えると・・・

- : 赤玉 (基準値100Bq/kg超と判定)
- : 青玉 (基準値100Bq/kg以下と判定)

ふるい上 ×

ふるい下 ○



基準値超過と判定 ×

基準値以下と判定 ○

ふるい上のものは詳細検査を実施

この妥協方法が、厚生労働省の定めた「食品中の放射性セシウムスクリーニング法」

ふるい上とふるい下がしっかりと正しく分けられている

ふるい下に100Bq/kg超の検体が混入し、基準値以下と誤判定されてしまうことがある！！

100Bq/kg以下である検体がふるい上に残っても、ふるい下には100Bq/kg超の検体が混入しないように調整

